

報道機関各位

シミック・イニジオ株式会社  
〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング

2024年7月17日

## シミック・イニジオ、MRの学術レベル向上のための医師監修の診断テスト 「全国統一学術診断 -造血器腫瘍領域-」を創設

シミック・イニジオ株式会社（本社：東京都港区 代表取締役 松原 久雄/ミゲル マルティン）は造血器腫瘍領域で活動するMRの質向上を高めることを目的に、法人向けのオンライン診断テスト「全国統一学術診断」を創設し、2024年7月17日より受検申込受付を開始することをお知らせします。

この試験は血液内科医がMRに求める学術レベルを反映させた診断テストで、医師の要求水準に対するMR個々および自社の学術レベルを客観的かつ相対的に比較することが可能です。

なお、試験は2024年11月～12月の指定期間に実施します。

# 全国統一 学術診断

造血器腫瘍領域

### ■創設の背景

デジタルツールの普及とコロナ禍による訪問規制が製薬業界のコミュニケーション手法を変化させましたが、依然としてMRの役割は重要です。新たな医学情報の加速度的な増加と、医師との面談のアポイント制の定着、さらに医師の働き方改革も施行された今、限られた時間での効果的なコミュニケーションを実践できるMRの質の向上が不可欠です。

当社の人財開発部では、2018年からオンコロジー領域の社内認定資格制度を継続運用する中で、血液内科専門医とのディスカッションを重ねてまいりました。そして、医師の求めるレベルの学術知識の習得機会を創出することで、MRの価値を高め、より良い医療の実現に寄与できると考え、造血器腫瘍領域でのMRの質向上のため全国統一学術診断を企画しました。

#### <人財開発部長 酒井宏治のコメント>

造血器腫瘍領域において、「MRの質」を構成する知識、スキル、マインドの3要素のうち、とりわけ血液や治療等に関する基礎的な知識の差が、医師への情報提供/収集、対話の深さの差の要因の一つとなっています。なぜなら医師はそのMRが理解して話しているか否かを敏感に察し、対話を深めてよい相手か否かを判断しているからです。この課題に対し、CSOという第三者である立場を活かし、企業横断で参加可能なプログラムを構築しました。造血器腫瘍領域における基礎知識の習得状況を診断し、個人/組織の現状を可視化することで、医療従事者に必要とされるMRの育成の一助として活用いただきたいと考えています。

## ■ 全国統一学術診断 -造血器腫瘍領域- の特徴

全国統一学術診断の最大の特徴は、血液内科医が造血器腫瘍領域で活動する MR に求める学術レベルを反映させたテストである点です。これにより質の高いコミュニケーションを可能にするための知識の底上げが期待できます。

### ① 日本血液学会認定血液専門医・指導医による監修

- ・血液専門医が造血器腫瘍領域を担当する MR に求める学術レベルを反映させたテスト
- ・医師の求める水準に対する自身、自社の学術レベルを知る機会を提供

### ② 他者/他社との客観的かつ相対的な比較が可能

- ・企業の垣根を越えて、個人/企業単位の解析結果をレポート
  - ・自社 MR の強化ポイントの抽出などに活用可能
- ※参加企業名の開示は行いません。

### ③ 継続受検により学習成果や変化の把握が可能

- ・本試験は毎年実施するため、継続して受検することにより個人単位、企業単位の変化を把握することが可能

## ■ 監修者について

MRに必要な学術レベルの見極めと、学術的な品質保持のため、下記の日本血液学会認定血液専門医・指導医に監修いただきました。

総監修：

松村 到 先生（近畿大学医学部 血液・膠原病内科 主任教授）

監修：

鈴木 憲史 先生（日本赤十字社医療センター 骨髄腫アミロイドーシスセンター 顧問）

塚田 信弘 先生（日本赤十字社医療センター 血液内科 副部長）

### <鈴木医師のコメント>

MRの必要性が議論されていますが、医療の質を向上する上でMRの役割は不可欠です。ただし、有意義な対話を行うためには、MR自身にも一定の学術知識が求められます。特に日々進化する造血器腫瘍領域において、最新情報を追いつけるためには礎となる基礎的な学術知識の習得が重要です。

毎年行われるこの学術診断によって、造血器腫瘍領域で活躍するMRが相互に切磋琢磨し、全体として専門知識や実務能力が向上することを期待しています。

## ■ 試験要項

対象：製薬企業に所属する MR（MR 職以外の受検も可能です）

試験方法：オンラインテスト

試験範囲：

### 基礎領域

1. 血液の基礎
2. がんの生物学・分子生物学
3. 臨床検査
4. がん薬物療法（副作用・支持療法含む）
5. 造血幹細胞移植
6. 合併症

### 疾患領域

1. 急性白血病
2. 慢性白血病
3. リンパ腫
4. 多発性骨髄腫

問題数：基礎領域 各 10 問（全 60 問）、疾患領域 各 20 問（全 80 問）

実施頻度：年 1 回

受検料：12,000 円/1 名（税抜価格）

※法人のみの受付とし、オプションとして試験問題及び解答の提供、解説の提供も可能です。

参考図書：血液専門医テキスト 改訂第 4 版（日本血液学会/南江堂）

専門医のための血液病学（鈴木 隆浩、竹中 克斗、池添 隆之/医学書院）

造血器腫瘍ガイドライン 2023 年版（日本血液学会/金原出版）

申込期間：2024 年 7 月 18 日～2024 年 10 月 31 日

実施期間：2024 年 11 月～12 月 ※法人ごとに実施期間を決定します。

申込方法：専用ウェブサイトのフォームよりお申込みいただきます（右二次元コード）

<https://www.cmic-inizio.com/zengakushin>



## ■ 解析レポート（サンプル）



※今後の開発によって仕様が変更される可能性があります。

## 【報道関係の方からのお問い合わせ先】

シミック・イニジオ株式会社

コーポレート・コミュニケーション部：小田 TEL:090-6187-3262

【補足資料】

■ 当社の社内認定制度について

多様化するクライアントニーズに応え、専門領域で活躍できる MR の育成と、MR 個人の能力開発の支援およびキャリアを広げる機会として、2018 年より「社内認定資格制度」を導入しました。

対象領域	Oncology「血液がんコース」 Oncology「固形がんコース」
認定ランク	Silver：1次試験合格者 Gold：2次試験合格者 Platinum：Gold認定取得後の実務経験者（Gold認定取得後、当該領域プロジェクトでの1年間の実務経験を以て自動認定）
認定プロセス	①エントリー ②e-learning（指定講座） ③1次試験（オンラインテスト/専門・認定医試験レベル） ④集合研修（対象：1次試験合格者/全5回/症例検討等） ⑤2次試験（専門医面談による口頭試問）
有効期限/ 資格更新	Silver：有効期限1年（有効期限後、次の1次試験を一定水準クリアで更新） Gold：有効期限3年（有効期限後、GOLD更新プログラム完了により更新）
試験実施頻度	年度に1回

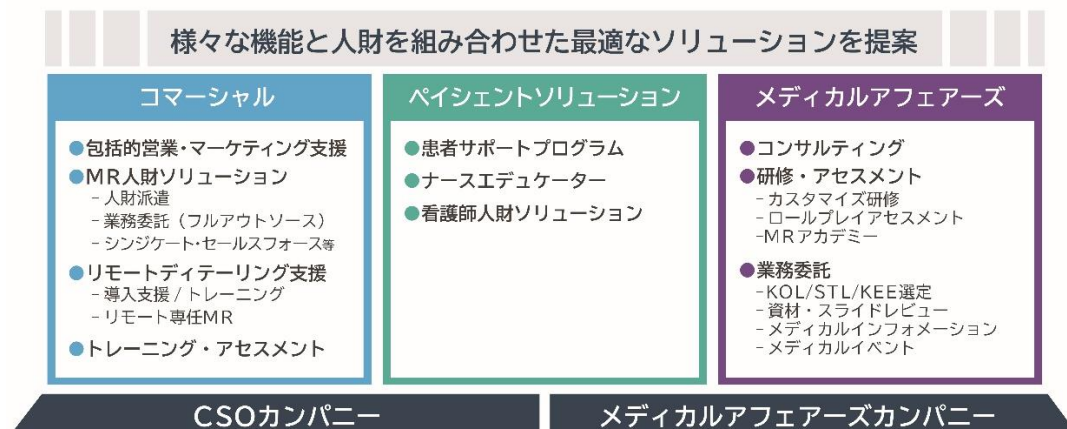
※「全国統一学術診断」とは異なる構成です。

■ シミック・イニジオ株式会社について

所在地：東京都港区芝浦 1-1-1

代表取締役：松原 久雄 / マルティン・ミゲル 社長執行役員：武田 浩徳

シミック・イニジオ株式会社は、シミックグループと Inizio Engage による合併会社です。CSOカンパニーとメディカルアフェアーズカンパニーの2カンパニー体制で事業を運営し、ヘルスケア企業と医療従事者・患者さん間の、医療や医薬に関する情報コミュニケーション支援のマルチチャネルソリューションを提供しています。



詳しくは、<https://www.cmic-inizio.com/>（下二次元コード）をご覧ください。

お問合せ先

シミック・イニジオ株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング

担当：小田 <https://www.cmic-inizio.com/contact/inquiry>

